

2023年度 事業活動報告 事業所名 第三かめおか作業所

<p>1、2023年度 事業所方針</p> <p><方針></p> <p>①らしく×はたらく ～「高工賃」と「新しい働き方」への2つの挑戦 安心して働ける環境づくり、新たなグループの立ち上げ</p> <p>②らしく×かせぐ ～「強み」を活かした商いの創造 物価高騰による商品単価の見直し（内勤） 不安定な社会情勢にも左右されない「生産力」「営業力」「販売力」の強化</p> <p>③らしく×はじめる ～自分らしい多様な働き方のために 新たな学びの場として「みんなで勉強会」の継続、就職をした人の「ほっこり会」の開催</p> <p>④らしく×つどう ～一人ひとりが主体的で認め合う、メンバーの集団づくり 積極的な自治会活動の実施、土曜開所日を活用した、多彩なメンバーの学びプログラムの実施</p> <p>⑤らしく×まなぶ ～職員の専門性をみがく 職員一人ひとりのマンパワーの向上、主体的に、より連携する職員集団づくりに向けた取り組み</p>
<p>2、利用者・職員状況</p> <p>・利用者：45人／現員 40人／定員 ※多機能 【就労継続支援B型：44人／34人、就労移行支援：1人／6人】 新利用者3人… 4月～ かめおか作業所より 9月、2月～ 相談支援より） 在宅支援：2人 1～2日／週利用：2人 平均年齢40歳（19～74歳）</p> <p>・職員：所長1名、主任1名、支援員9名（正規：3名 非正規：5名 派遣：1名） 亀岡市就労支援事業1（3日／週） 調理員3名（ぽればれと兼務）</p>
<p>3、2023年度 実践内容と成果</p> <p>・今年度の売上も昨年度を上回り、平均工賃の算出方式が変わったこともあり、2023年度の平均工賃月額額は47,470円になりました。第三は「年金と併せて選べる暮らし」をめざし、目標工賃をおよそ5万円と決めてきましたが、あともう少しのところまでできています。まずはこの高工賃を維持すること、次に厳しい現場に携わっているメンバーに対し「手当」をさらに充実できないか、検討しています。</p> <p>・一方で年齢とともに体力や気力が続かない、小さなつまづきから糸が切れたように作業所に通うことができなくなるなど、様々な背景からそれぞれの状況に応じた対応が必要なメンバーが増えています。個別に自分のペースでできる新たな作業グループの立ち上げを検討し、必要な備品購入や作業環境づくりのため助成金を申請するなど準備をすすめてきましたが、今のところまだ実現していません。今後は自主財源を充てるなど、形にするための議論をすすめます。</p> <p>・菓子製造・販売グループは今年度、物価高騰の影響から商品価格の値上げに踏み切りましたが、比較的許容範囲だったのか、大きな影響はありませんでした。きょうされん京都支部と京都生協のつながりから生まれた、コープさかの店での委託・店頭販売も、今後はさらに売り上げが伸びるよう助言をいただき、見直しの準備をしているところです。</p> <p>・これまで収入の大きな柱だった清掃・草刈り作業グループは、毎日請け負っていた介護保険所での清掃が今年度末でなくなり、新たな仕事を探しています。これまでのつながりのあるところを訪問し、</p>

依頼もしてきましたが、今のところ具体的な取引先は見つかっていません。これを機に請負作業だけに頼るのではなく、自分たちの事業を新たに始めよう、例えばお墓の清掃など長く続けられる仕事づくりを視野に入れて準備をしています。

・ここ数年、取り組んでいる「今月のミッション（職員主導ではなくメンバーが「みんなで」「考え」「協力して」「行動し」「答えを見出す」取り組み）」は今年度も様々なテーマで取り組んできました。最近では「亀岡を知る！ステキなカフェをさがせ！」というミッションに対して、14 チームに分かれ市内の様々なカフェを訪れ、その様子をまとめました。手にする工賃が増えてもこれまで自分で考え選んで決めるという経験の少ないメンバー、使い方が分からない、休日の過ごし方が分からない人が多いのが現状です。これらの取り組みがこれまでの生活にちょっと変化をあたえる兆しになればいいなと思います。2024 年度は土曜開所日が終日・2 日あるので、さらに充実した活動になるよう、メンバーの声をたくさん取り上げ、楽しい土曜開所日にしていきたいと思っています。

・職員集団づくりについては、これまで管理職が中心に担っていたことを主任が、グループ CAP（責任者）が担う、現場職員もそれぞれが何か役割を担う、管理職が一步引くことで職員個々が事業所全体を見る意識を養う取り組みを続けてきました。来年度もさらにその内容を広げていきたいと考えています。また法人内部研修をはじめ、様々な外部研修にも積極的に参加し、見聞を広げてきました。そんな個々の学びも第三の実践や事業に活かしていきたいと考えています。

4、次年度以降への課題と取り組むべき実践内容

・次年度も高工賃の維持や拡充をはじめ、高齢期や個別対応が必要なメンバーが自分の思い描く働き方ができるよう、新しい作業グループの創設をはじめ、個別に沿った働き方を複数準備していきます。

・そのためには、各グループの強みを活かしたさらなる挑戦や取り組みを検討し、形にします。

・そんな取り組みを通して、職員一人ひとりが事業所の役割、やるべきことを自ら見出し実行できる職員集団づくりをめざします。